

2024年度第1回(通算11回) 北海道レフェリーアカデミー 事業報告

報告者: 岩本駿士(札幌地区)

【日時】4月27日(土)、4月28日(日)

【場所】北海道コンサドーレ札幌東雁来グラウンド SSAP 会議室・SSAP 屋内競技場

【参加者】審判員: 高須賀哲平 丑屋幸大 及川凌夢 岩本駿士

インストラクター: 古曽部統太郎氏(RAM) 今川一輔氏(RAI)

平石暁史氏(RAI) 岡田渉氏(RAI)

オブザーバー: 山崎裕彦氏(RDO)

一瀬哲平氏 山口麗弥氏(3期生・強化指定審判員)

増田裕之氏 渡部貴大氏(強化指定審判員)

【テーマ】レフェリーチームでゲームをコントロールする

【4/27(土)】

8:20 集合

10:00 試合実践 高円宮杯 JFAU-18 サッカープリンスリーグ2024 北海道

R:高須賀 A1:丑屋 A2:及川 4th:岩本 担当INS:今川氏

<主審振り返り>

目標であった15mでの判定に関して、概ね達成することができ、横の動きに関しても適宜ポジションを取ることができた。また、ファーストファウルとなるホールディングについて、その後の展開を考えアドバンテージを適用することができた。一方で、73分の異議による警告は効果的なマネジメントができていれば警告を出す必要がなかったかもしれない。

<INSコメント>

アカデミー2年目として大いに成長が感じられた試合でした。特に評価したいのはPA内の事象を適切な距離と角度で判定しようとする姿勢には大きな成長を感じます。73分の異議に対する警告ですが、その警告までのプロセス(会話や表情・身体の向き)などを考慮してほしい。今後は高須賀さんの個性や持ち味を活かしながら、競技者の感情なども考えながら取り組んでくれることを期待しています。

12:00 移動・昼食

13:00 試合振り返り

今回は実際に試合映像を用いて審判員同士で気になった点や改善点をピックアップして行った。すぐに映像を確認できたことで審判員同士の活発な議論が行われた。

14:30 審判員プレゼンテーション

「1年目の成果と課題、2年目にチャレンジすること」

本講義では審判員が上記のテーマに基づきプレゼンテーションを行った。各々が昨年の活動を振り返り自身のストロングポイントやウィークポイントをしっかりとさせることができ、今シーズンの目標を確認する有意義な時間となった。

16:00 諸連絡・解散



【4/28（日）】

10：20 集合

10：30 競技規則講義

「第11条 オフサイド」担当 INS：平石 氏

本講義ではオフサイドの成立要件の一つである「相手競技者を妨害する」という点に着目し、映像を用いてディスカッションを行った。また、「影響を与える」という言葉については、

- ① オフサイドポジションにいる競技者と守備側競技者の距離
- ② 明らかな行動
- ③ ボールとの近さ

以上の3つが判断材料として挙げられ、1つでも当てはまればオフサイドであることを明確に整理できた。



12：00 昼食

13：00 フィジカル講義

「暑熱順化とは？～夏の全国大会に向けて～」担当 INS：岡田 氏

本講義では「変化」をテーマに、physical check の成績の変化と気候変動下における審判員のコンディショニングについて学んだ。physical check については、昨年の成績の推移を確認し、アカデミーの目標である2年間でYoYo Testの本数40%アップ達成のため、トレーニングの内容にもっとこだわる必要があると再認識した。暑熱下におけるコンディショニングについては、生理学の観点から暑熱下でのパフォーマンスはどのように変化するかについて整理し、暑熱化でも安定したパフォーマンスを発揮するためにトレーニングをする時間や内容に注意を払う必要があることを学んだ。



14：30 Physical Check

YoYo+speed Test

今回はアカデミーでは3回目のPhysical Checkであった。Speed Testではランニングフォームを撮影し、後日自身で映像を確認した。YoYo Testについては大幅に本数が落ちた者はいなかったが、アカデミーでの最終目標に向けて今一度自分自身と向き合う必要があると感じた。

YoYo4 人平均：53.7本

16：40 諸連絡・解散

